

職員による自己評価

A環境面

活動スペースが狭い。

B児童への支援内容

活動スペースの狭さから十分に支援が出来ていない。

C関係機関との連携

就学前の関係機関との情報共有や、専門機関との連携が出来ていない。

D保護者への説明責任・信頼関係

事業所のイベントへの招待等が出来ていない。

E非常対応

食物アレルギー等の対応が医師ではなく、保護者様とだけの連携になっている。

保護者による評価

A環境面

見れていないのでわからない。

B児童への支援内容

障害のない子供との交流があることを知らなかった。

外部との交流はコロナ関係もあるのでどちらともいえない。

C事業所からの情報発信

スタッフによって変わる。

保護者同士の関わりは少ない。

職員同士で共有が出来ていないことがある。

D非常対応

とくになし

事業所内での分析

【共通点】

- 事業所でのイベントが少なく、保護者同士の交流が少ない。

【相違点】

- 活動スペースが適切かどうか。
- 障害のない子供との交流。
- 職員同士の連携。
- 非常時にどのように動くか。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 車いすに乗車されている方と、歩行されている方の交流がある。
- 保育園等のイベントに招待していただく機会が多い。

事業所の改善点

- 職員同士の連携を強固にする。
- 保護者様への情報のお伝えをしっかりと行う。
- 外部との交流の機会を増やす。

事業所の改善への取り組み

- 職員間の情報共有が不足していることから保護者様にご迷惑をおかけしてしまっている。情報が洩れることの無いよう、日々の記録の確認をしっかりと行う。
- 安心して通所していただけるよう、支援を統一して行うよう徹底する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

至らない点が多く、ご心配とご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。
保護者様、ご利用者様が安全に、安心してご利用いただけるよう改善してまいります。

事業所名 鶴ヶ峰もえぎ本部 NEXT

担当者 上原 明星